

第 2 回部会への情報提供

情報としては、第一回の部会で発言した事と重複しているところが多いですが、補足的に整理します。

1. 京島モデル

アーティストのテンギョウ・クラさん（本人は自分自身をヴァガボンドと定義）と後藤大輝さんが新しい福祉のモデルをつくろうとしています。

京島のまち全体を福祉施設に見立てて、みんなで障害者を見守っていこうという、壮大な社会実験です。

その背景には、京島の下町気質に根付いた共助の精神を活かし、昔ながらの地域包括のモデルを現代に合わせて復活させよう…という気持ちがあるようです。

彼らが参考になっているのは、浜松のたけし文化センター、西成のココルーム、神戸のはっぴーの家ろっけん、横浜のカプカブひかりが丘、世田谷のハーモニーなど、全国的にも有名な、先進的な取り組みをしている施設です。

テンギョウさんは実際、これらの施設に滞在して活動に参加したり、交友関係をつくってきた経緯があり、今回の京島モデル構築にあたっても、協力関係をつくりつつあります。

京島モデルに関する情報はまだ少なく、本人たちも明確な言語化はできていないと思いますが、Facebook などの情報発信を見ると、彼らの考えている方向性は分かるかと思います。

参考

<https://www.facebook.com/search/posts/?q=%E4%BA%AC%E5%B3%B6%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB>

2. 地域福祉プラットフォーム（ぷらっと）

墨田社協が運営する居場所。先日、4カ所目が旧隅田小学校で開設しました。

今後、区内全域に配置していく計画（全7カ所）とのことで、前回話題出た「小さな居場所」という方向性とも一致する方針かと思います。

ただし運営日は週2回、3～5時間ほどで、気が向いた時にふらっと立ち寄れる場所にはなっていないのが残念なところです。

参考

<https://www.sumida-shakyo.or.jp/service/cate01/platform>

https://www.city.sumida.lg.jp/kenko_fukushi/tiikihukusi_sonota/tiiki_hukusi/purattofo-mu.html

3. すみだ保健子育て総合センター

11 月に開館の「すみだ保健子育て総合センター」は、保健所・子育て・教育の関連部署が集約する複合施設という事で注目されています。

このセンターができる横川近辺の住民（たとえば錦糸町で活動している不登校児の親の会）は、相談に行きやすくなると期待しています。

その一方で、老朽化により向島・本所の両保健センターや、これまで「すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）」で行われていた教育相談事業も廃止されてしまうという事で、墨田区の中でも、地域によって利便性に大きな差が出ることは確実です。

もちろん、集約されたことで期待できる効果があるのですが、少なくとも相談窓口や居場所としての機能については、広域に分散することを検討すべきかと思います。

https://www.city.sumida.lg.jp/kenko_fukushi/kenko/new-hokensisetu/shinhokenshisetsu.html

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/306817>

<https://jcp-sumida.jp/activity/673/>

4. 福祉と教育の融合について

直接現場を見てはいませんが、人伝に聞いた話だと、墨田区の小学校では、福祉的な視点に欠けた対応が多いように感じます。

特に教師の発達障害に対する理解不足が大きく、それが原因で不登校になる児童なども増えているようです。

今後、教育と福祉は、もっと融合していくのが必然かと思います。

墨田区では、すみだスクールサポートティーチャー（SST）という取り組みがありますが、問題行動のある児童の見張り役ぐらいに考えている学校もあるようです。

ボランティアの中には、教師以上に福祉的な視点を持っている方や有資格者なども存在していますので、そういう方をもっと積極的に活用して、教師のアシスタントを越えた、パートナー的存在になっても良いのではないかと思います。

デンマークのペタゴーのような、福祉的な支援者が学校内にいる事は、教師の負担を減らし、より質の高い教育を提供する事にもつながります。

まずは両者が対話できる機会をつくり、教師が対応できていない、問題行動のある児童をケーススタディとして取り上げるだけでも、大きく前進するのではないのでしょうか。

すみだ保健子育て総合センターの開館や今回の基本構想策定などは、一人の子どもを取り囲む関係者たちによる、包括的な支援体制づくりをする良い機会になると思います。

参考

https://www.city.sumida.lg.jp/kosodate_kyouiku/kyouiku/school/oshirase/asistant.html

今後の議題について

今後 10 年で考えると「不登校・ひきこもり」は大きな課題になってくるかと思います
まだ数としては少ないものの、不登校出現率は中学生では 7% ぐらいおり、無視できない比率です。

墨田区の対策もまだ始まって間もなく、対応が追い付いていない（フリースクール、居場所の不足など）という話も耳にします。

どこかの機会で取り上げられると良いかと思いますが、どうでしょうか。